



千葉大学ユニオンニュース第 53 号 2009 年 10 月 30 日

編集・発行: 千葉大学ユニオンニュース委員会

ホームページ: <http://www.age.cc/~cuu/>

メールアドレス: cuu@e-mail.jp

電話・ファックス: 043-290-2234

ファックス専用: 020-4666-6229

西千葉キャンパス総合校舎G号館 401 室 ☆声をお寄せ下さい。

☆みなさんの職場でお気づきのことや質問を、千葉大学ユニオンは待っています。

6 月期のボーナス引き下げで生じた余剰分の使用について... ユニオンは提案します。また、皆様のご意見を募集します。

ボーナス削減で発生した剰余分の使用について ユニオンからの提案

今年 6 月のボーナス削減にともない、今年度、千葉大学に公布された運営費交付金の人件費分について余剰が生じています。この使途について、ユニオンでは教職員の労働環境の改善に使用されるよう求め、これを受けて各部局に意向聴取が行われているところです。大学の方針としては、ボーナス削減によって浮いた費用はもはや「人件費」ではないため、これを給与など労働条件の改善にはまわさず、施設設備などの改善に使うとのことなのですが、しかし、給与や労働時間、休暇など、働く者の労働条件にかかわるのでなければ、結局のところ、労働環境の改善としては意義が小さいと思われます（コンクリートから人へ?）。

そこで、ユニオンとしては次のように考えています。大学も後期に入り、これから入試業務など、教職員ともに繁忙期となります。また、今年は新型インフルエンザの流行にともない、さまざまな問題の発生（教職員自身や家族のり患、付属病院での業務や入試業務の加重など）が予測されています。そこで、①職員の超勤・休日出勤に対する手当を確実に支給する、②教職員が休日出勤をする場合の振替休日、しばしば休日出勤手当（35%増）や週の超勤手当（25%増）をカットする目的で週内に設定されていますが、休みにくい平日に無理に振替えるのではなく、後日休むことができるようにするなど、教職員の希望を考慮して対応する、③インフルエンザ感染に対し、特に非常勤職員に有給での病休や家族の看護休暇を設定する、など、手当や休みの形で教職員全体に還元されることを求めます。

皆様のご意見お寄せください！

今年 6 月のボーナス削減に伴う剰余金の使い道について希望あるいはご意見はありましたらユニオン事務局までお知らせ頂けないでしょうか。働く環境についてともに考え、取り組む場として、ユニオンを利用していただければと思います。

テニユア・トラック問題について最近の動きと問題点

現在、千葉大学では、運営費交付金によるテニユア・トラック制の導入が検討されています。テニユア・トラック制は、若手研究者が任期付きの雇用形態で採用され研究を行い、その後審査を経て安定的な職を得るしくみですが、千葉大でもすでに、科学技術振興調整費のプログラムを利用する形で一部の部

局で導入されています。これを、今後、大学の運営費交付金を利用する形で行うとすれば、次のような問題が考えられます。

現在、考えられているテニユア・トラック制については、まず 5 年の任期で助教として採用された後、審査を経てテニユアが付与されることとなっていますが、テニユア・トラック期間の終了後、審査の結果テニユアが付与される場合には大学でしかるべきポストを準備する必要があり、これを実行するには長期的な視野のもとで大学全体のポストのあり方を考える必要があります。

この点については、一方で、法人化にともない「職制の定数管理」の概念がなくなったため、人件費総枠のなかで採用枠を考えればよいのではないかと、という見方があります。しかし、現在の教員の雇用条件をみると、勤続に応じた退職金の支給までを考慮に入れるならば、その手当のためには、雇用できる教員の「数」がおのずと定まってきます。これに対し、テニユア・トラック制を経ての採用を含め、定数管理の概念をはずしてそのときどきの採用をしていくなれば、長期的には現在の雇用条件を維持できなくなる可能性があります。雇用条件の観点から、こうした点についてユニオンでは懸念を持っています。

また、テニユア・トラックの制度自体のあり方についても議論が必要です。5 年という期間や助教というポストの是非、研究者としての「自立性」が確保されるか、といった点は、すでに指摘のあるところですが、大学での仕事という点からみても、テニユア助教と、それ以外の教員との業務分担のあり方をどうするか、明確な区分けが可能かといった点など、検討すべき課題が多いと思われます。

飛び入り歓迎！職員総合作品展 2009

今秋も、教職員交流の場として 25 回目の「職員総合作品展」を開催します。ご自慢の作品、あるいは研究の成果などをご出展いただき、友と語り、大いに交流を深めましょう。出展していただく作品としては、写真・絵画・書道・彫刻・篆刻・フラワーアレンジメント・手芸品などオリジナルの作品に加え、今年はずいぶん、フィールド調査や実験等で発見した美しい自然・現象や文化の紹介（写真、工芸品など）もお寄せください。要領は以下の通りです。10 月 31 日 9 時より会場設営します。11 時頃作品をお持ちいただけると幸いです。

■期間：10 月 31 日（土）～11 月 2 日（月）

■場所：松韻会館 1 階大会議室

■申し込み：fukukawa@faculty.chiba-u.jp（福川@工学部）

西千葉事業場過半数代表の代議員選出について

過半数代表は、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合に、労働者の意見を集約し、雇用者に伝えるための制度です。千葉大学では、松戸事業場はユニオン東葛支部が過半数組合になっていますが、その他の事業場には過半数組合がなく、過半数代表が選出されています。西千葉事業場では構成員が多数のため、職場・職域ごとに代議員を選出し、その中から過半数代表を選ぶ方式をとっています。代議員の任期は2年で、現在の代議員の任期は2009年9月末までです。すでに任期が過ぎてしまっていますので、早急に代議員の選出を行わなければなりません。

近々、代議員の中から選ばれた幹事による幹事会で、選出の区割りや定員等を決定する予定です。各職場・職域では、選挙管理委員会を立ち上げ、代議員の選出を行っていただくこととなります。

皆様、積極的に代議員の選出に御尽力いただけますよう、お願いいたします。(西千葉事業場過半数代表 久下謙一)

駅伝大会レポート

学長杯争奪！第4回千葉大学駅伝大会が2009年10月12日(月・体育の日)に西千葉地区の構内周回コースで実施されました。今年も体育会の協力を得て、陸上部、トライアスロン部等が6月初めの企画立案から当日の運営に至るまで活躍してくれました。

絶好の秋晴れで体育の日にふさわしい大会となり、学生や教職員の参加チーム数は昨年より10チーム増えた51チームを数え、西千葉地区はもとより亥鼻、松戸、柏、の各地区から参加した255名が健脚を競い合いました。結果は、1昨年2位の雪辱を果たした「保健体育科大学院生」が初優勝で学長杯を獲得。

「平成16年同期職員」が2年連続2位で走友会会長杯を、昨年1位の工学部化学系学生の「Chem 共ロク」が3位でユニオン賞盾を授与され、今年も6チームの大量参加で引継ぎ時に板割りパフォーマンスを見せて沿道を湧かせた空手部のうち「ドスコイさつまいも」がブービー賞。女子だけで編成されたチームが多くなり、今年から女子の部が設けられました。優勝チームの「女子ソフトボール部」には生協賞のトロフィーが授与され、病院看護師さん達の「ワンショットプラス」がブービー賞。生協からは今年も参加賞・ブービー賞の賞品をご提供頂きました。

駅伝終了後に生協第1食堂で懇親会が開催されて90名が参加。撮影された画像スライドショーを観覧して各人の走りの評したり、参加チームの代表者に一言話してもらったり、抽選による走友会からのお楽しみ景品があったりと、学生、教職員、地区や機関を超えての交流が活発に行われました。今後も参加チーム数増加と学内の親睦を運営目標とし、更なる大会の発展・成長を期待します。(駅伝大会実行委員：斎藤一)

渡部成哉先生、邦人初演オペラご出演

10月4日(日)市川市文化会館で、前副委員長・渡部成哉先生ご出演のオペラにご招待を受け、鑑賞し感激しまして、ご報告申し上げます。

邦人初演のジョルダノ：オペラ「フェドラー」(全三幕・字幕付き原語上演)で、ヒロインの皇女フェドラーの婚約者がロリス伯爵に射殺され、フェドラーは復讐にロリスの兄と母を死なせる。それは同居する仲となったロリスの知るところとなるが、フェドラーは「ロリス、あなたを愛している」と繰り返しロリスの腕の中で事切れるという悲劇。

渡部先生の役は、下のお写真の通り、秘密警察の警部グレックで、フェドラーの婚約者の殺害犯人としてロリスを追う役。5月の新教職員歓迎会でもご披露頂きましたが、今回はプロの声楽家の歌声を、オーケストラ伴奏でお聴きしました。また是非鑑賞したく存じますし、ご関心をお持ちの方々、ご一緒いらっしゃいませんか、感激を体験すること請け合いですね。(社支部執行委員 菅野憲司)



◎ ユニオンのおもな活動報告 ◎

- 10月 1日 第3回定例3役会議
- 10月 8日 第3回定例執行委員会
- 10月15日 第3回定例編集会議
- 10月26日 ユニオンニュース第53号発行

編集後記 編集委員長力量不足のため発行が遅くなってしまいました。すみません。

「私たちの職場をより明るく豊かにしていくための声をあげ、実現していく」ユニオンにぜひご加入下さい。加入は下の「加入申込書」にご記入の上、FAXにてユニオン事務室までお寄せ下さい。送信先やユニオンの規約を載せたHPのアドレス等は、本ニュースの表面をご覧ください。

加入申込書

電話・ファックス:043-290-2234

千葉大学ユニオン委員長 三宅明正 殿

千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入します。2009年 月 日

ご氏名: _____

ご所属: _____

ご連絡方法(メール、電話、FAXなど): _____